

平成30年 8 月 8 日（水曜日）

教育、民生常任委員会会議録

教育、民生常任委員会会議録

---

平成30年8月8日(水曜日)

---

出席委員(7名)

委員長 福田 淑子 君  
副委員長 柳田 政喜 君  
委員 平吹 俊雄 君 手島 牧世 君  
藤田 洋一 君 前原 吉宏 君  
我妻 薫 君

---

欠席委員(1名)

委員 村松 秀雄 君

---

議長 大橋 昭太郎 君

---

町執行部出席者

教育委員会教育次長兼教育総務課長 佐々木 信幸 君  
教育委員会教育総務課課長補佐兼管理係長兼学校給食係長 伊藤 雅典 君

---

議会事務局職員出席者

次長兼議事調査係長 高橋 美樹 君

---

平成30年8月8日(水曜日) 午前9時30分 開会

- 第 1 小中学校のエアコン設置とトイレの現状について担当課との意見交換  
第 2 所管事務調査報告書について
- 

本日の会議に付した事件

- 第 1 小中学校のエアコン設置とトイレの現状について担当課との意見交換  
第 2 所管事務調査報告書について

午前9時30分 開会

委員長（福田淑子君） 皆さん、おはようございます。

ただいまから第8回教育、民生常任委員会を開催いたします。

きょうは、皆さんのお手元の次第にありますように、まず第1部、小中学校のエアコン設置とトイレの現状について担当課との意見交換を行います。

第2部として、所管事務調査の報告書についてを協議いただきたいと思います。

きょうは、小中学校のエアコン設置とトイレの現状についての担当課の課長さん及び課長補佐の方に忙しいところおいでいただきまして、いろいろ説明をいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。本当にお忙しいところありがとうございました。

本日の会議、村松秀雄委員は病気のために欠席いたしております。きょう検査結果がはっきりするということで、多分次回からは見られるのかなと思っておりますが、委員会は成立いたしております。

議長が出席しております。

それでは、直ちに、小中学校のエアコン設置についての状況を担当課から御説明をお願いいたします。

教育次長兼教育総務課長（佐々木信幸君） おはようございます。よろしく願いします。

本日、私、教育総務課長の佐々木と、あと課長補佐兼管理係長兼学校給食係長の伊藤が出席しております。

本日お配りしております資料に基づきまして、伊藤のほうから説明したいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 済みません、私のほうからエアコンの設置状況について報告したいと思います。

まず、表の見方ですけれども、小学校、中学校、幼稚園と3つに分けておりまして、普通教室というのは普通の学級と特別支援の学級が含まれた教室となっております。特別教室等となっておりますのは、一般的に音楽室とか理科室とかそういうほかに、児童会室とか相談室とか、一部多目的ホールとかが含まれておる室数となっております。体育館等とありますのは、小学校にはないんですが、中学校に武道場がありますので、それも含めた形で体育館等ということで、既存の調査がありまして、その資料から持ってきております。合計数となっております。

現状といたしましては、小学校につきましては普通教室に設置はございませんが、中塚小学校につきましては、特別支援学級に以前、肢体不自由の子がいたということで、急遽設置した

関係で、今もその分を設置したままの状況になっております。特別支援学級に設置しているということになります。特別教室等になりますが、全ての学校が設置になっておりますが、これはパソコン室です。パソコン教室に設置しているということです。結局、機械は熱に弱いものですから、パソコン整備と同時にエアコンを設置しております。体育館等については設置しておりません。

続いて中学校についてですが、中学校についても普通教室等にはエアコンの設置はございません。特別教室等にあるのも、こちらパソコン教室に設置しております。体育館等について、エアコンは設置しておりません。

続きまして、幼稚園になりますが、こごた幼稚園については保育室あるいは教室ですが、冷暖房とも電気のエアコンでしておりますので、ここは設置しております。預かり保育室にも設置しております。遊戯室、ホールにも設置してあります。こごた幼稚園については全ての部屋において冷暖房が完備されております。

ふどうどう幼稚園になります。保育室の9部屋のうち2部屋が設置してありますとなっておりますが、これについては昨年度と今まで普通教室、4歳児の教室なんです、預かり保育の拡充に伴って預かり保育室が足りないということで、普通教室を午後は利用するんですが、昼寝の場所として使っておりますので、昨年度に1つつけておまして、今年度さらに拡充したということで2部屋になりましたので、7月31日まで1カ所、暫定ではありますけれども、つけておりますので、2カ所となっております。ほかの3歳児と5歳児の部屋にはついておりません。預かり保育室につきましては、預かり保育室が2部屋と、支援室、預かり保育室の隣なんです、そこに設置してありますので3部屋となりまして、その部屋につけております。遊戯室等にはありません。

続きまして、なんごう幼稚園になります。なんごう幼稚園は保育園と幼稚園棟がありまして、教室数については幼稚園の教室だけで記載しております。保育園側のゼロ歳児から3歳児までの保育室にはエアコンは完備しております。6部屋ありますけれども、そちらには設置しておりません。預かり保育室等3部屋とありますが、これは預かり保育室なんです、午後からは幼稚園と保育園分の園児が共有になりまして、そちらのほうに2部屋分ついていて、1部屋分ついていないのは幼稚園の図書室についておりませんので、2部屋だけの設置となっております。こちら遊戯室にはついておりません。

さらに、下のほうに米印で書いてありますが、こちらの調査表には、いわゆる職員室、校長室、事務室等や保健室については含まない調査になっておりますが、全ての学校について、最

最終的に平成28年度末まで職員室につけましたので、職員室と保健室には全ての学校でエアコンは完備されておりますし、幼稚園の職員室とあと子供たちが体調を崩したときの保健室的な場所にもついております。

以上が美里町の学校施設等に係るエアコン設置状況であります。

委員長（福田淑子君） ありがとうございます。

ただいま設置状況について説明ありましたが、委員の皆さんから何か質問あればお伺いいたしたいと思います。手島委員。

委員（手島牧世君） 小学校、中学校及び幼稚園に関して、適切な温度と言われているのは、今年度、変更があったかと思いますが、確認のため教えていただきたいと思います。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） その辺、学校保健法を確認しないとわからないことがあるので。

教育次長兼教育総務課長（佐々木信幸君） 今、資料としてないのでお答えできないのですが。

委員長（福田淑子君） 後で確認。

教育次長兼教育総務課長（佐々木信幸君） はい、別途報告ということでよろしいですか。

委員長（福田淑子君） よろしいですか。

委員（手島牧世君） はい。

委員長（福田淑子君） では、後で確認お願いしたいと思います。

ほかにありませんか。はい、手島委員。

委員（手島牧世君） 現在も非常に猛暑と言われる中で35度を超えたりとかりしている状態で、エアコンのないところにどういった対応をされているのかを教えていただきたいと思います。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） エアコンのない部屋につきましては扇風機と、あと過去に網戸の設置をして、要は窓をあけていても虫が入ってこないような形の設置をして授業を行っております。通常、ない部屋については一応扇風機対応ということになっております。

委員長（福田淑子君） 手島委員。

委員（手島牧世君） 扇風機というのは、家庭用のものなののでしょうか。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 各学校さまざまで、ちょっと業務用っぽいのもあれば、家庭用の扇風機もありますので、形もさまざまです。いろいろなものがあると聞いております。

ただ、業務用でかなり風の強いものについては、多分教室内ではプリントとかめくれる関係があるので、多分教室内的には普通のエアコンをつけているのかなと思います。（「扇風機」の声あり）あっ扇風機ですね。大きいものについてはホール的なもので使われているのではない

かと思えますし、形も、下の床置きタイプから柱に取りつけて首振りタイプとか各学校さまざま。そちらについては、こちらで対応したときもあれば、学校の消耗品等で買っている部分もあるので、全部の台数については今の時点で把握はしておりません。

委員長（福田淑子君） 手島委員。

委員（手島牧世君） 今の扇風機なんですけれども、一部で子供たちがとり合いになっているとか、扇風機で風に当たりたいというのでそういったお話が聞こえていたりしています。要は、間に合っているものなのかどうか、まず、その辺がちょっと知りたいところだったんですけれども。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 現状的には、多分ですが教室1個ないし2個で、前と後ろかで回していると思うので、各部屋、多い学級ですと40人ぐらいいますので、そこまで行き渡るのかはちょっと厳しいですね。窓際のほうは風が入ってきて、廊下側が入ってこないということであれば廊下側に置いたり、使う方法については学校の先生に任せている形なので、扇風機が足りないので買ってくださいという状況よりは、足りなければ消耗品等で買って補充しているみたいなので、1台当たり何人で使っているかというのはちょっと把握していない現状です。

委員長（福田淑子君） ほかにありませんか。藤田委員。

委員（藤田洋一君） 今の関連ですけれども、扇風機ですね、よくテレビで火災とかでありますけど、先ほど壁用とか形等も含めていろいろあって確認されていないという話でありますけれども、扇風機も年式が古いと火災の原因になりコードなんか差しっぱなしだとテレビでこの間もあったんですが、年式とかそういうのを今把握されて、古いのがあるのか。一番長いのでどれくらい使っているのかというのはわかるんですね。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 古い年数はこちらで把握はしていないんですが、こちらで消耗品等の伝票が回ってきているんですが、年に数回は学校で買って更新しているようなんですが、多分壊れて更新とか、教室数がふえて買い増したとかということなので、壊れたら多分その都度、家庭的なものは買っているとは思いますが、一番古いので何年度というのは、学校に確認したわけではないので、今の手持ちの資料ではちょっとわからない状況です。

委員長（福田淑子君） 藤田委員。

委員（藤田洋一君） 何もないならいいんですけれども、そういうものの管理もきちっと、夏の期間に使うから、使った後はきちんと掃除させて管理させて使うというふうに思うんですけ

れども、そういう事故があったというのもよく聞きますので、そういうのもやっぱり学校としては多分やっていると思うんですけども、余り古くなると燃えるらしいんです、モーターが。学校の先生方、多分きちっと管理していると思うけれども、そんなふうなことでするので確認したほうがいいかなと思います。以上です。

教育次長兼教育総務課長（佐々木信幸君） ありがとうございます。年式の古さとかそういったものは、今申し上げたとおり教育委員会で把握していないものですから、それらについてはこれから注意喚起をしつつ、あと古いものと同時にコンセントの配線とかも、ほこりとかたまっていないかどうか、そういった部分も含めて学校のほうには連絡したいと思います。

委員長（福田淑子君） 一番はやっぱり現場の声を校長先生から聞き取るなりして、それが一番必要だと思うので、あわせて。

教育次長兼教育総務課長（佐々木信幸君） そうですね。今回エアコンということだったので、改めて扇風機の設置状況というのは確認してこなかったんですが、機会を見て、こちらもどういう使い方をしているのかというのは調査したいと思います。

委員長（福田淑子君） はい、前原委員。

委員（前原吉宏君） 聞きたいんですけども、子供さんたちは、学校に持ち込みの中で、例えば保冷剤みたいなものは持っているのですか。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 聞いているのは、水筒とかは学校へ持ってきているんですけども、個人で保冷剤まで持ってきているかはわかりませんが、保健室等については何かの対応のために保冷剤を常に常備している形になりますので。

委員長（福田淑子君） 前原委員。

委員（前原吉宏君） 一番対応として簡単だなと思ったのは、今、縦長の冷凍庫がありますよね、業務用に使えるような。あれというのは消費電力もかなり少なく、年間でもかなり安い金額で使える時代になってきて、それを学校で対応して。暑い時期というのは正味2カ月ないわけですね。7月中とあと9月みたいなイメージで考える。その中で冷凍庫をうまく活用して、各教室が理想なんでしょうけれども、例えば学年ごととか、そういう対応できないかな。ちょっと考えてきたのですけれどもね。

委員長（福田淑子君） それ、対処については後からで。

委員（前原吉宏君） ああ、そうですか。失礼しました。

委員長（福田淑子君） 一応、エアコン設置の状況を説明いただいて、それに対して質問あればということですので。対処については後からまた皆さんとお話したいと思います。

ほかにありませんか。我妻委員。

委員（我妻 薫君） さっきちらっと窓側の子供は風が当たると言ったけれども、直射日光を防ぐような対応なんかはあるんですか。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 通常のカーテンとかそういう形ぐらいしかないんじゃないかなと思いますね。例えば遮熱用のシートを張るとかというのは多分現状はない。今は新しいので、もうあらかじめガラスにそういう遮熱関係とか遮熱塗料とかいろいろなものがあるんですが、今の現状だとそういうのはない状態ですね。あるのは飛散防止フィルムを張るとか、そういう地震時に壊れたときの対策はほぼ完了していると思うんですが、熱に対するというか、それについては対応したフィルムではないんじゃないかなと。

委員長（福田淑子君） 我妻委員。

委員（我妻 薫君） 校長先生もそうでしょうが、現場の先生は、これまでにないような高温が続いたというのに危機感を持っていなかったのか。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 保健の先生とかは経口補水液とか、常に常備する本数をふやすとか、そういう使用する可能性があるものは常備量をふやしたりというのは。経口補水液とかも常にストックしているよりも多目にストックさせてほしいという、しますというような話は校長先生から聞いたのもあります。

教育次長兼教育総務課長（佐々木信幸君） 熱中病対策ということで、県とかからは本年度はかなり通知が来ておりますので、そういった部分ではすぐに学校のほうに話して、各学校で注意してくださいということでの注意喚起はさせていただいていると。

委員長（福田淑子君） 我妻委員。

委員（我妻 薫君） 県からの指導ということを今言われたけれども、どんな指導が来ているんですか。

教育次長兼教育総務課長（佐々木信幸君） 具体的に例えばさっき言ったような補水液がどうかということではなくて、基本的に熱中病にならないように注意してくださいというような内容のものです。水分補給ですとか休憩をとるとか、そういった内容の。

委員（我妻 薫君） ぐあいが悪くなったときの対応ね。

教育次長兼教育総務課長（佐々木信幸君） そうです。

委員（我妻 薫君） 委員長、いいですか。

委員長（福田淑子君） 我妻委員。

委員（我妻 薫君） 我々自身も、さっき何で日除けとかを聞いたかということ、今までだった

ら風が通れば涼しく感じるというのがあったの。空気が動けば涼しい。外気温はまだそんなに上がっていない。外気温がもう既に35度近く、少なくとも30度を超すということになれば、風が動いても表面の体感も下がらないわけ。ましてや日射のあるところと日陰というのは、もう違いがはっきりしているのね。窓際の子供というのはずっと常に日射を浴び続けるわけ。だからそれで聞いたんだけれども、どこの家でも今、全部遮光して、それで気温上昇を防ぐわけね。そうすると日射そのものを浴びている子供のコンクリートの建物の中というのはかなりの高温になっているというのは想像にかたくないと思うんで、その辺、現状を例えば温度をはかってみるとかそういった対処はあったのか。

教育次長兼教育総務課長（佐々木信幸君） 具体的な報告等は受けておりませんが、恐らく推測としては、各学校で教室ごとに温度計を置くなりして温度管理。上がったからじゃエアコンはないんだけど、それを下げるとのことじゃないかもしれませんが、そういった関係とかはしているのではないかと思います。確認はしていません。（「委員長、最後だけ」の声あり）

委員長（福田淑子君） はい、我妻委員。

委員（我妻 薫君） その辺、現場での対応、もう少し教育委員会でも。厳しさというのは全国で言われて、しかも今までだったら関東以西とかせいぜい近畿から西とかそういうところだから、東北なんかは設置率が物すごく低くてよかったというので進んできた。ところがこのようになっていて、もう北海道まで含めて30度を連日超すような、そんな異常な、これまでにないような状況に来ているのに全然対応してこなかったなんて考えられないわけね。現場の先生たち、どんな対応しているのか。その辺、教育委員会としても現場の様子をもしつかんでいけば教えていただければと。

委員長（福田淑子君） ほかにありませんか。後から皆さんからいろいろ御意見をいただくので、エアコン設置状況について説明いただいた分についての何か質問あれば、柳田委員。

副委員長（柳田政喜君） まず最初に、根本的なことをお聞きしたいんですけども、実際子供たちのほうに何らかの影響はなかったかどうかの確認なんですけれども、例えば体調を崩して授業を休んだ子供がいたとか、病院……。

委員長（福田淑子君） 済みません。後から。エアコン設置の状況を説明いただいたので、これに対しての質問をまず。

柳田委員。

副委員長（柳田政喜君） 中埠小学校に一つだけエアコンがついていると、通常教室で、とい

うことですが、そちらは利用したのでしょうか。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 普通教室ですね。（「はい」の声あり）

以前に肢体不自由の子が入ったときに。

副委員長（柳田政喜君） それは聞いていたから。現在も使って。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 現在もその部屋については使っていると思われます。特別支援学級。

副委員長（柳田政喜君） いや、普通教室。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） いや特別支援学級も、区分としては普通学級なんです。

副委員長（柳田政喜君） 特別教室はないのですよね。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 特別教室というのは音楽室。

副委員長（柳田政喜君） だからその部屋だけはまだついている。

教育次長兼教育総務課長（佐々木信幸君） 特別支援の子が学年にちょっといたことがありました。（「最初のとき何年か使われていた」の声あり）

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） そうです。最初の子がそのクラスに入らなければそこは空き部屋となっていて。

副委員長（柳田政喜君） 通常使われている。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 特別支援の子供はおりますので、その部屋で授業はちゃんと受けられていると思います。

副委員長（柳田政喜君） はい。

それとパソコン室のほうに全ての学校にエアコンが入っていると思いますけれども、こちらのほうは通常、使うときと使わないときありますけれども、授業する前から回しておかないと話にならないですね。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 教職員のパソコンのサーバが入っておりますので、いないとき、夏場も30度設定と。子供たちがいるときは28度設定なんですけれども、30度設定で常に回しててくださいという指示はしております。

副委員長（柳田政喜君） ちなみに、子供たちがその教室に休憩時間等に入ることは許されているんですか。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 授業時間以外ですか。（「はい」の声あり）はないと思います。勝手に機器にいたずらできないようになっているので、先生がいるときだけ。

副委員長（柳田政喜君） 前にでも暑いときに子供たちが入っていたとか。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 多分それ、先生の許可を取っているかと。

副委員長（柳田政喜君） 当然そうだと思いますよ。体調悪いときは入っていいとか、保健室に入る前はたしかやっているわけで。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） そうですね。あとは保健室にはありますので、先生たちももしかしたら、職員室にないときはパソコン室で夏休みとかは作業していたというのを聞いたことありますけれども、ただ、先生たちもパソコンは持っていけないので、やる仕事は限られていたみたいですが。

委員長（福田淑子君） 平吹委員。

委員（平吹俊雄君） 先ほど我妻委員が話したとおり、やはり今、傾向として温暖化で、ことしなんか特に厳しい夏となりましたね。やはり教育委員会としても経費のかかることだし、こういうような状況の中でね。

委員長（福田淑子君） 平吹委員、設置状況の後から意見。

委員（平吹俊雄君） いや、だから、各教室にエアコンがないからという話をしたいなと思ったのさ。

委員長（福田淑子君） 意見のときにお話ししていただいていた方がいいですか。

委員（平吹俊雄君） はい、わかりました。

委員長（福田淑子君） 現状についての説明がありました。ほかに質問。はい、我妻委員。

委員（我妻 薫君） 現場からは、つけてほしいという声は出てこなかったんですか。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 現場からは、直接私に来たのは、幼稚園が来ていまして、実施計画に載せているんですけれども、一応小さい子供ということで、こごた幼稚園とふどう幼稚園の園長先生からありまして、こちらでも基本的なものについては見積もり等をとって準備はしております。ただ、学校についてはまだ調査自体もしていないので、最終的に改修に幾らかかるというのはやっておりませんが、要望は保護者とか、さらにおばあさん、おじいさん等から、学校にエアコンつかないのですかという問い合わせはありますね。

委員長（福田淑子君） ほかにありませんか。

委員（前原吉宏君） 幼稚園3つ載っているんですけれども、保育所はどうなんですか。（「保育所関係ない」の声あり）関係ないんですか。（「教育委員会」の声あり）

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） なんごう保育園についてはあります。（「こごた保育所もある」の声あり）はい。

委員長（福田淑子君） よろしいですか。

委員（前原吉宏君） 失礼しました。

委員長（福田淑子君） はい。

はい、藤田委員。

委員（藤田洋一君） 幼稚園ですけれども、3幼稚園ですね、預かり保育室に3・3、3・3、なんごうが3・2になっているんですけれども、先ほどの確認なんですけど、図書室がついていないということ。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 預かり保育室「等」に図書室というか、調査だったので、図書室って職員室の前にあるんですけれども、そこにはついていないので。

委員（藤田洋一君） それで2というんですね。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） そうです。

委員（藤田洋一君） はい、わかりました。

委員長（福田淑子君） ほかにありませんか。柳田委員。

副委員長（柳田政喜君） 今、施設の関係で話があったのでお聞きしたいんですけれども、以前にふどうどう幼稚園のほうで遊戯室のほうに排煙窓の故障が発生して交換した関係があるんですね。暑いときに排煙窓をあけていたところなんですけれども、ワイヤーの部分がパイプをこすっちゃって、ワイヤーのふぐあいということで修繕したはずなんですけれども、修繕するときに業者の人から、これは通常、使用するものではないですよと、排煙時にしかあけないものですよということで、ふだんはあけるなという指示が来たという話だったものですね。今回暑いときに、その部分はあけたんでしょうか。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 実際はあけて使っています。利用の、結局、業者からすると排煙窓なので、火事の際の煙をこもらないようにということなんですけど、ただ、暑いときにはあけて使っているはずなので、なぜ悪くなったかという、使い方が悪かった部分もちょっとありまして、ワイヤーを締めようと思って、ぎりぎりのままとめて、そのままストッパーをかけていたんですけれども、閉じたと思ったら一回転、回して緩めた方向でとめないと、すぐワイヤーが伸び伸びになるのでというので、直したときに強く私、使い方については教えてきたというのがあるんですけれども、そういうふうな形で、使ってもいいけれども、戻してねと。ぎりぎりやったまま使わないでねということで、ワイヤーが伸びちゃうので。ふどうどう幼稚園についてはワイヤーの長さがかなり長いので伸びぐあいもあるんですけれども、通常よりも高いところなので。使ってだめですとは言っていないです。本来はこういう使い方だけでも、温度を下げる効果があるのであれば、あけて特に問題ないというか。ただ、網戸がな

いので、夜まであけていると虫が入ることなので。

副委員長（柳田政喜君） あれ、ワイヤーが伸びただけじゃなくて、今度パイプがワイヤーにすれて、そのパイプに穴があいたということもあったと思ったんですけども。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 前はワイヤーしか取りかえてはいないんです。ただ、そのときはもうハンドルが製造禁止だったので、ハンドルも、そこも交換しなければならなかったんです。

副委員長（柳田政喜君） そこはもう今は。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 今は使っていて、あけたりして、私がいるとあけて使っています。本来の使い方は多分説明していたと思うんですけども。

委員長（福田淑子君） ほかにありませんか。藤田委員。

委員（藤田洋一君） 今のやつなのだけれども、町営住宅側の上のほう、いつだか行ったら、そこあいてますって、今言ったやつね、壊れたハンドルがね。あそこできて1年ぐらいというか、閉まらなくなったというやつあったのね。私が、ちょうど行ったときだったんだ。それで直さなければならぬと言ったら、そのあとで直して。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） その後、3年前、27年度に、ちょっと記憶ないですけども、私来てから。その後は、ふどうどうから壊れたという話は来ていないので。

委員（藤田洋一君） そのときたまたま、柳田委員もいたんだ。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 27年ですね。27年、済みません、ありがとうございます。

委員長（福田淑子君） ほかにありませんか。現状。はい、議長。

議長（大橋昭太郎君） 現状、ちょっと微妙なところなんだけれども、とめられるかどうかだ。

けさ役場に来るときに、ラジオで放送していたので、仙台市の設置状況がたしか1.6%。それで設置する際には国から3割の補助があるというような話が出ておりまして、政令指定都市だから……。

委員長（福田淑子君） とめます。エアコンの設置状況について。（「なし」の声あり）

なければ、皆さんから意見をいただきたいと思います。意見ありませんか。大橋議長。

議長（大橋昭太郎君） それで、例えば国からの部分が3割だと。郡市長のコメントとして、設置の方向で検討している。それから国への3割の補助じゃなく、もっと大きい補助を出してもらおうような形での要請をしていくといったようなコメントが出されているというニュース報道だったんです。

例えば設置する場合のそういった補助、恐らく仙台市は政令指定都市だからだと思っただけ

れども、美里町なんかであれば県からの補助があるのか、その辺の部分の調査というのは行われているのか。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 補助につきましてはあります。環境整備ということで空調の設置は国からの3割。ただ、いろいろな要望があって、今年度、国に対して県が行ったいろいろな学校の設備の要望で認められたのは、たしか3割か2割に満たないという状況なんです。毎年補正があって、その年度の何とかすくわれるというか、何年か待ちになっているんですけれども、国のほうも採択基準というのがあるんで、要は今年度はこれを重点に採択しますよというのにあふれると何年要求していてもですね。過去にあったので公共整備みたいなのは、ほかのまちでは2年、3年ぐらいですと採択が漏れて、毎年。

ことし国でも空調の問題が出たので、ことしの補正から来年にかけては空調の採択基準は優先的にはかなり上がってくるんだらうなと思って、ただ、実際、全国で手を挙げたときに、全部のところに行き渡るかということで、手を挙げないとゼロなので、手を挙げて待たなければならぬと。

ただ、一番の国の補助事業なんですけれども、前年度にやった設計費まで補助になるんですけれども、設計費来て設計して、じゃいざ補助金申請して、それが認められないで1年あきますと設計費の補助はもう受けられなくなるんですね。1年前までの設計費の分しかみられないので、そこが悩みどころですね。設計費に何千万かけて、次の年、もらえと思ったら工事が採択されないと、その設計費分は単費扱いになっちゃうので、文科省の補助事業ですね。ただ、学校とか特例で2年前までというのはあるんですけれども、一番いいのは、その年に設計して、その年に工事って認められたのはいいんですが、そうすると時期的にはもうほとんど、かなりの事業量というか業務量があるので、そこが今どこも、空調に限らず、やれるのか、採択受けるのかわからないような状態のところ、多分設計費の補助がですね、自前の設計になってしまうんでないかなと、自前の独自予算で前年度。ただ、工事費が認められれば、一部事務費もつけていいということになっているんですけれども。結局、補助事業が大きければ大きいほど、設計費も大体は高くなる。その辺、認められない部分がかかなりつらいものがあるので、そこが制度上として悩みがあるような状況なので、毎年、そういう補助費のかさ上げとか予算の確保について、町もそうなんですけれども、県もですね、実は要望は毎年同じように、やってはいるんですけれども、なかなか最近は補助の採択率というのがかなり低くなってきているんですね。

議長（大橋昭太郎君） 県からの補助というものは当然何も無いわけだ、このエアコン設置。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 県の補助は、あとは例えば環境税であるのか、あと別な震災絡みで、避難所としてのがあるのかとかというくらいで。この間の、カーボン・マネジメント、ただそれについては転嫁率というか、排出ガスの高い、それを町としては優先的に進めて、エアコンというのは、何も無いのにエアコンつけるので、それは多分、排出ガスふやすだけなので。（「逆に古いものの更新を」の声あり）多分古い暖房機器を新しい暖房機器とかそういうのはあると思うんですけど、今の状況だと、大体手を挙げているのは文科省の補助事業に手を挙げているんだと思います。

委員長（福田淑子君） ほかにありませんか。議長。

議長（大橋昭太郎君） こごた幼稚園、保育室にほとんどついてはいるわけけれども、これちょっと聞いたときに、建設当時、例えばなんごうとふどうどうについては床暖房が入っている。こごたは。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） こごた幼稚園も床暖房はついております、ホールだけ。

議長（大橋昭太郎君） いや、この間ね、どっちにするかと言われたということで、財政のほうで言っていたんだけど。こごた幼稚園はクーラーの設置のほうを選考したというわけです。クーラー設置の部分で5,000万円の予算だということ。よそがないのは、床暖を選んだからだというような言い方だったということです。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 確かに、ふどうどうは床暖房はあるので。

議長（大橋昭太郎君） なんごうもあるわけですね。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） こごたもですね、床暖房はふどうどうは多分ホールだけだと思うんですが、そこはちょっと確認させてください。たしか、私の記憶ではこごたもあつたような気はしないでもないんですけども、ホールですね。教室まで確認していないんですが、冬場使ったときに、暖房と床暖房を入れたような気がしたので、そこはこごたの床暖房はちょっと。

議長（大橋昭太郎君） それで、こごたはエアコンを選んだその経過というのはどういうふうだったものかという興味があったものだからね。そうなのかなというふうな思い。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） ふどうどうを建てたときはそういう要望がなくても、こごたでそれを設置してしまうと、私も、私もと、多分ふえてきたと思います。こごたでエアコンはそのときに必要だったのかもしれない。

議長（大橋昭太郎君） だから、こごたは教室も全部ついて、恐らくどの設備もいいということではなかったのかなと思って、床暖ついていないんですと言われたから、その辺ちょっと調

べてもらうといいのかなと。

委員長（福田淑子君） ほかに御意見ありませんか。手島委員。

委員（手島牧世君） 先ほど熱中症のお話があったので、そちらのほうなんですけれども、今年度かなり運動制限とか活動制限とかかかってくる事業が多かったと思われませんが、それに対して、もちろん熱中症の指標をはかる機器もあるんですが、もともとスポーツ庁とか気象庁から、自分で見れば、例えば湿度と温度で換算して行って、それがどれくらいで運動制限がかかるというのが出ているんですけれども、そういった意味で、そういった機器が各校、各幼稚園等にあるのか。またはそういった指示に対してどのように行われているか教えてください。

教育次長兼教育総務課長（佐々木信幸君） 南郷中学校には備えつけてあったというふうに記憶しております。熱中症の測定器というのがあって、機器が余り大きくないものなんですけれども、数千円くらい、1万しないくらいのものがあって、先週ですか、教育長が中学校を歩いたときにそういったお話をいただいてきたということで、消耗品の予算で買える範囲のものなので、各校長先生にはそういったものがあるんですよという情報をお話しして、その購入についても、はっきりとした指示という形かどうかちょっとわからないんですけれども、お話ししてきたというふうに聞いております。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 小牛田中学校の体育館に行ったときに、熱中症の測定器がありました。持ち運び可能な、置き時計みたいなのがありましたので。

委員長（福田淑子君） 教育長が各学校長に対して指示したというふうに捉えていいんですか、今の話。

教育次長兼教育総務課長（佐々木信幸君） 確認しないとはっきりとはわかりませんが、口頭でこういうものがあるよということでお話ししてきたというふうに聞いております。

委員長（福田淑子君） 手島委員。

委員（手島牧世君） ではそれを踏まえて、教育委員会からは何らかの指示は出ていないということなんです。自分たちが各校にお願いしていて、必要であればそういった消耗品の中で買えるよという話だけで、そういったものを気をつけて子供たちの指導に当たってくださればといった指示とかも。

教育次長兼教育総務課長（佐々木信幸君） 具体的な例えば文書とかそういった形での通知はしていません。熱中症の注意に関する文書は送っておりますけれども、具体的にこういうものを購入して配慮してくださいとか、そういった形はとっていないです。

あとは、さっき言った、口頭で教育長からの話はしているというところです。

委員長（福田淑子君） 猛暑対策について教育委員会として話し合いましたか。

教育次長兼教育総務課長（佐々木信幸君） 教育委員会というのは、要するに教育長と教育委員さんの組織である教育委員会ということですよ。

委員長（福田淑子君） はい、そうです。

教育次長兼教育総務課長（佐々木信幸君） 具体的にこれからどうするかというようなお話は多分ないのではないかと思います。済みません、ちょっと記憶は定かでないんですけども、教育委員会の議題として、それについて話し合ったということはないと思います。ただ、例えば教育長の報告の中だったりすれば、あるいはこういう通知を出していますということはしているかもしれないですし、それも今、資料を持っていないので、はっきりとは申し上げられませんが、議題として、それについて今後どうしましょうかという話は私が来てからはしていないと。

委員長（福田淑子君） 今の学校の子供たちの熱中症対策でいろいろお話しされている中で、教育委員会として猛暑対策をどうするのかという、大事な命にかかわることなので、その辺の認識というのかな。かなり暑い状況で、また夏休みも終わろうとして、これから学校になったときにどういう対策を、今、教育長がこういうものをやりますよというふうに話をしてきたというんですけども、やっぱり一つの組織として教育委員会としてどう対処するのかというものをきちっと話し合わないと、学校任せにするというのが一番の私は疑問なんですけれども、その辺、やっぱり教育委員会として話をぜひ、これは意識的に持っていたかないと前になかなか進まないと思います。その中で各学校長から、うちの学校の現状はこうなんだという報告が必ずなされるので、それが教育委員会の私は役割かなと思うんですけども、その辺はどのようにお考えでしょうか。

教育次長兼教育総務課長（佐々木信幸君） 私がそのことについてどう考えるかという話をここでするわけにはいかないのですが、今こういうお話がありましたということは持ち帰って教育委員会でお話ししたいと思います。

委員長（福田淑子君） 前原委員。

委員（前原吉宏君） 意見交換としてよろしいですか。

委員長（福田淑子君） はい。

委員（前原吉宏君） 小学校の入学時に交通安全の黄色い帽子を渡されますよね。幼稚園と保育所と小学校かな。全児童が入学時にもらっていると思いますけれども、私の知っている限りでは、不動堂小学校では6年生もかぶって通学するんですね。入学式の何年かたつとなくす子

供が出たり、サイズが合わなくなったり、うちでも置いているんですけども、親から聞くのが熱射病にすごくいいと。実際暑いんですけども、不動堂小学校は必ずかぶりなさいと言われてるので、子供たちそれですごくしています。ただ、ほかの学校のことを知らないものですから、その辺ちょっと聞きたいなと思っているんですけども、ほかの帽子をかぶっているという、そういう場合もありますけれども、不動堂の場合は強制的に黄色い帽子、6年間。逆に雨が降ったり、あと日射。一つの意見交換として。

委員長（福田淑子君） ほかにありませんか。柳田委員。

副委員長（柳田政喜君） 済みません、さっきお聞きしたかった、実際の子供たちの様子として授業に影響があったとか、あと休んだ子供たちとかいなかったのかどうか。

教育次長兼教育総務課長（佐々木信幸君） 私が聞いている報告としては部活動。ただ、学校の授業中とか授業のある日の話ではなくて、夏休みに入ってからだと思うんですけども、小牛田中学校、駅伝の練習が終わった後に、本来の部活動の練習に来た子がどうもぐあいを悪くして、熱中症の症状らしいということで病院に運んで点滴の治療を受けて、保護者の方に保護に来ていただいたというお話を聞いております。

副委員長（柳田政喜君） 中学生が1人病院には行ったと。（「そうです」の声あり）

ほかに、当然さっき口径の水分補給薬とかいろいろふやしたということでしたけれども、保健室を使って、ちょっと調子が悪いという利用というのはどれくらいあるか把握できないですか。多分それが一番だと思うんですね、第一段階目は。当然それも授業に影響あったでしょうし、それが過ぎると病院という形で、その一歩手前の分はどれくらいあったのか把握できているのかどうか。

教育次長兼教育総務課長（佐々木信幸君） 例えば熱中症の症状のようなので、保健室で休む生徒さんがいたとかいないとかという状況ですね。そこは確認していないので。

副委員長（柳田政喜君） でも、やっぱりそれというのは、授業にも影響ありますし、教育委員会として把握すべきポイントだと思うんですね。その部分がエアコンの設置だったりそういう部分に影響してくると思いますので、その分は把握するようにしていただきたいと思います。（「はい」の声あり）

委員長（福田淑子君） ほかにありませんか。平吹委員。

委員（平吹俊雄君） 小学校、中学校はよいとは言いませんけれども、せめて幼稚園ぐらいですね。あと20台かな、16台かな。これやはりこの先、設置の方向で、財源はそれなりにあれなんですけど、その辺、財源を出しながら設置する方向でやはりお願いしたいなと思います。

保育所では5・6歳でもありますからね、エアコンが。5・6歳だと年中、年長にはなるんですが、やはり小学校と幼稚園は体力が違いますから、その辺はいわゆる設置という形の中で、今後1年になるか、2年になるかはわかりませんが、その辺ひとつお願いしたいと思います。

委員長（福田淑子君） ほかにありませんか。手島委員。

委員（手島牧世君） 率直にエアコンの値段は知りたいなと思っていました。今、どれぐらいでどうということはお話しできないと思うので、過去の経緯から、一般的なつくりとか大きさで違うとは思いますが、大体どういったぐらいかかっていたのか。（「1台の設置料金、設置するのに幾らかかったか」の声あり）はい、そうです。ただ、この場合、例えば体育館につけるとかなんとかというと全然変わってくるので、一般的な教室で今入っているところが何力所かあるので、特別教室含め、一般的な教室の大きさと比べたときにどれぐらいなのかなど。教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 平成28年度に設置したのは要は家庭用エアコンの100ボルトタイプで、既存のキュービクルに影響がないというのを調査して、大丈夫だということで、職員室の大きさを何畳用と固定しまして、それを割った台数をつけている。だから、きんきんに冷えるような形ではなくて、最低限というか、不快を感じない程度にしか実際はできないんですが。

業務用になってくると、天井に埋め込むような形なんですけど、要望があったかどうか幼稚園となんごう幼稚園は一応はかりましたというか、見積もりをとった感じなんですけど、一般的なものの業務用というか、それをつけるとやっぱり電気がもたないということで、キュービクルが全部交換だよということなので、あと、ここた幼稚園の遊戯室にはついていまして、ふどう幼稚園の各部屋と遊戯室につけた場合、平成28年に予算要求のためにとった見積もりですと大体7,600万円。（「キュービクル含め」の声あり）全部含めてです。その工事の際にはキュービクルを通る電気が一切合切とまるので、とめるわけにいかないんで、仮設の電気設備も何百万円かかかります。それを含めて、あと設置する際には今度、火災報知機の位置とかを変更しなければならぬとか、いろいろ似た形だと約7,600万円、2年前で。補助がその3分の1というわけじゃなくて、対象教室の面積に態容補助金額って決まっているんですね。その出した金額の3分の1なので、かかったくらいの3分の1ではないんです。さらに絞られてしまうことになります。

なんごう幼稚園につきましては、キュービクル自体はいいものというか大きいものについて、7,200万円くらいかかる、ホールにつけるといのは一応出して、28年度に一回とっているんで

すけれども。最初は教室だけだったのがホールもとったら幾らになるというのは28年度、29年度の予算資料として取り寄せていました。

委員長（福田淑子君） 柳田委員。

副委員長（柳田政喜君） 確認ですけれども、一般的にエアコン1台大体300万円くらいかかるというのはニュースとか新聞とかに載っていますけれども、それ以外の部分がかかるということですよ。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） それもかなり安いです。今回のふどうどう幼稚園は本当に部屋よりもちょっと小さい最低限何度まで下がればいいのか。

副委員長（柳田政喜君） そういうのじゃなくて、業務用で、きちんと教室に合うものなど、一般的に大体300万円くらい。ただ、設置料金とかそこにあるキュービクルとか、そんなにかかるとそこまでかかる。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 全部やるともうキュービクルは持たないです。いろいろアップしなければいけないので。

副委員長（柳田政喜君） ちなみに、前回の中学校のとき、27年ですね、28年か、に設置したときは、各中学校どのくらいでしたか。職員室につけたとき幾らでしたか。2,000万円くらいでしたっけ。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） そうですね、9校で1,500万円くらいですか。

副委員長（柳田政喜君） たしか1校1,000万円くらいだったような記憶があるんだけど。後でいいです、済みません。

委員長（福田淑子君） 決算書を見れば。

副委員長（柳田政喜君） 後でいいですから。ただ、同じような金額では無理だと、キュービクルが必要なので。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） そうですね。

委員長（福田淑子君） ほかに意見。議長。

議長（大橋昭太郎君） ちょっと前なんですけど、子供たちが通っている小学校で熱中症で亡くなった方がいたんですね。そのときの温度が二十七、八度なのですね。だから高温、だから熱中症になるわけではないわけね。

それから今、いろいろな大会、この間もビニールバレーボール大会とか何とか、そのとき国のほうからなのかな、運動は注意してくださいといったようなものがきたりしたとか、それからさっき出てきた中では、駅伝の練習の後に部活動を行ったとか、熱中症対策に対する知識

と、それから言ってみれば指針なりをつくらないと、なかなか学校の中で、学校だけの判断でいいのかなと思ったんですね。だから例えば熱中症というのがよくわからないと、指導部分も一貫性のない形になっているのかなと思ったりなんかして、やっぱり子供たちを守るという観点から言えば、きちんとその辺の勉強なりを先生たちもやっていかなければいけないんでないのかなと感じたんですね。ぜひそういう方向で持っていただければいいのかなと思っています。いるんですけれども、その部分も当然教育委員会の中で話し合われているんだと思います。

委員長（福田淑子君） ほかにありませんか。柳田委員。

副委員長（柳田政喜君） 教育というのは当然生涯続けるもので、特に小学校、中学校というのは基礎をつくっていくところですよ。それでこういう熱中症だったり、学校の環境を整えなかったことによって休まざるを得なくなった、延びた授業のところでは休まざるを得なくなった場合に、欠落した部分というのが授業に出てきますよね。そういうときってやっぱり、その後の学習にずっと影響を及ぼすものだと思うんですね。そういうところの対処というのも考えてほしいなと思うんですけれども、これはあくまで意見です。

委員長（福田淑子君） ほかにありませんか。手島委員。

委員（手島牧世君） やはりことし、この後どれくらい残暑等になるかわからないんですけれども、以前、気象庁から100年予報とかの中で、今後40度以上見込まれるのがこのままいくと続きますよというのとか、テレビなんかでも「命にかかわる状態ですからエアコンを小まめに使ってください」と言っているような報道がある中で、やはり今後、予防ももちろんそうなんですけれども、対策として大きくきちんとしていかななくてはならないというのを両面からしっかりと形に出していただければいいかなと思います。

委員長（福田淑子君） ほかに。我妻委員。

委員（我妻 薫君） 今、皆さんから出されているのとダブりますが、さっき柳田副委員長が言ったように、子供がぐあいが悪くなったかどうかとか、そういったところもまだ現状つかんでいないですね。

教育次長兼教育総務課長（佐々木信幸君） 学校内での例えば、休んでいる生徒がいたとかいうところですね。病院へ行ったとかそういったことがあれば校長先生から連絡があるので、そういったところでは報告は受けますけれども、さっき言ったように、保健室で休んでいる生徒さんがいるとかというふうなところまで行ってないですね。

委員長（福田淑子君） 我妻委員。

委員（我妻 薫君） その辺も含めて、今、手島委員も言ったけれども、ただ先生たちもかな

り危機感持ちながら対応してきたんでないかと思うのね。先生たちだって、名取の問題もあるし、そこに行ったからあれは問題だったと切り捨ててしまうことにもならない。教室内だって高温ずっと続いている状況の中で、先生たちがどんな気持ちでどんな対応してきたのか。どんな思いでいたのかね。その辺、さっき聞いたんだけど、現場の状況を教育委員会としてもきちっと吸い上げて、ことしで終わりだということではないだろうと。さっき手島委員も言ったように、この天候状況というのは何年かこれが続くということを考えて、教育委員会で現場の状況を一回きちっと把握して真剣に検討をする、結論ありきじゃなくてね。さっきの伊藤さんから出たように、補助の制度のあり方とかいろいろなえらい高い壁があるのもわかったけれども、教育委員としては子供の命を預かっているという状況を踏まえた場合に、真剣にこの問題に向き合って議論するべきじゃないのかなと思ったりします。

委員長（福田淑子君） ほかにありませんか。

私から、ことし7月20日の県議会の文教警察委員会で、議員の質問に対して宮城県の教育長は、学校一般の教室のエアコンについて従来とは違う対応が必要だと、設置する方向に方針転換する認識を示したというふうに答えているようなんですけれども、その辺について県教委からは何か情報なり、さっきの補助率の関係もあると思うんですけれども、その辺の状況というのは知っているのかどうか。

教育次長兼教育総務課長（佐々木信幸君） 確認はしていませんね、その件については。

委員長（福田淑子君） もし確認していないのであれば、やっぱりそうやって県議会で話し合われて、教育長が答弁しているので、ぜひその辺の考えを、どのようにことしするのか、来年するのか、その点も含めてぜひ情報を得ていただきたいと思います。お願いします。

ほかにありませんか。エアコン設置の状況。（「なし」の声あり）

なければ、エアコン設置についての現状把握についてはこれでよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

それでは、若干休憩いたします。

10時50分から再開します。

午前10時38分 休憩

---

午前10時50分 再開

委員長（福田淑子君） 委員7人出席ですので、委員会は成立いたしております。

引き続き教育委員会との意見交換をしたいと思います。

課長、お願いします。

教育次長兼教育総務課長（佐々木信幸君） 先ほどのテーマの中で適正な温度に関する御質問をいただきまして、それを教育委員会のほうに電話で確認したところ、ただいまその報告がありましたのでお伝えしたいと思います。

学校保健安全法という法律がありまして、その6条第1項の規定に基づき学校環境衛生基準というものが定められております。その中で適正温度という記載がございまして、平成30年4月1日から見直しをされております。4月1日施行であります。その施行前は10度以上30度以下という温度だったものが、17度以上28度以下という温度に見直しがされましたという報告があります。

というふうな報告でしたので、お伝えしておきます。よろしくお願いします。

委員長（福田淑子君） はい、お願いします。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） もう1件ございます。床暖房関係のお聞きとりしました。

床暖房については、こごた幼稚園はホールと各教室も床暖房だそうです。ちなみに、ふどうどう幼稚園はホールのみ。なんごう幼稚園はホールと、保育園側はゼロ歳児からと一時預かり保育室、そっちは幼稚園と兼用になっています。そっちにはありますので、幼稚園側の教室は通常の暖房だということの報告いただきましたので、報告をします。

委員長（福田淑子君） ありがとうございます。

28年度の職員室設置については、もう既に決算で皆さん知っていると思いますので、おのこの確認していただければと思います。（「はい」の声あり）

続きまして、学校トイレの室内環境調査についてですけれども、まず御説明をお願いしたいと思います。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 学校トイレの室内環境調査、これは6月に教育長の指示がありまして各学校に照会したものです。

照会した内容につきましては、まずはトイレの室数ですね、男女ごとに何部屋あって、その状況について報告くださいということで取りまとめたものです。

小牛田小学校からいきますと、8室数とありますが、これは男女分かれてたり、職員室も含めてになります。まず校舎のみということで調査いたしました。体育館等は含まれておりません。

調査の内容については、室内の環境なので臭気関係を主に聞いてみたものなんですが、臭気も、何が原因で臭気が起こっているかというのを把握する必要があったので、換気が十分な

か不十分なのかというのもあったので、換気扇があるかどうかも含めて聞きました。ほとんどの学校で換気扇はあったんですけども、青生小学校で2部屋ほど換気扇はないと、ただし換気窓があったということになります。ほかの学校で、換気扇はあるけれども換気窓がないところも何カ所かございました。

それで、あとは臭気の状態なんですけれども、調査してくれた先生の感じたままの回答なので、要は臭気計を使ったとかそういう意味じゃなくて、感覚でになります。ほとんど教頭先生だったり養護の先生が調査してくれたものになります。普通なのか不快に感じるかという報告で、大きなところで言うと、不動堂小学校が普通と答えたのが1つ、不快に感じるというのがほとんどだったということになります。不快がゼロということが普通だよというのは、許される範囲なのか、こんなものだよという回答なのか、ちょっとその方の主観なんです。そのほかにも、どうして臭気があるかという、老朽化で換気扇の回りが悪いとかそういうのもあったので、それについては今後ちょっと調査して、古いものというか、本当に吸わない状態の換気扇については一応交換する方向で整備を進めていかなければならないと思っておりますが、現状的にはこの数字になったということになります。

委員長（福田淑子君） ありがとうございます。

今の説明について御質問。（「済みません、数字の確認」の声あり）柳田委員。

副委員長（柳田政喜君） 中埴小学校だけ臭気に関して数が少ないですけれども、これは何ですか。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） これは回答していただいた先生の、普通か不快かという聞き方しかしていないんですけれども、不快には感じていないという回答だったということです。

副委員長（柳田政喜君） いや違う、合計数が12部屋あるのに8つしか書いていない。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 済みません、ちょっとお待ちください。

訂正させてください。12です。中埴小学校は臭気が、8と書いておりますが、済みません、12です。（「普通が」の声あり）普通が12です。済みません。

委員長（福田淑子君） 御質問ありませんか。平吹委員。

委員（平吹俊雄君） この中で和式と洋式があると思うんですが、その辺の区分はどうなっていますか。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） この調査については部屋数に対してなので、和式だからということではなくトイレの中の環境だけを調査したものです。

委員（平吹俊雄君） ああ、わからないの。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） ただ、和式かどうかというか、各学校とも全部水洗化は終わって水洗トイレはあるんですね。過去の平成27年から洋式化工事が認められて、工事した数字を見ると、平均しますと小中と合わせて洋式化率が大体43%。各学校おおむね40%ぐらいなんですけれども、一番高いのが中埠で60%を超えているんですね。新しい学校は洋式率が高くなっているというか、そのときのニーズに合わせてですね。ゼロではやっぱりないんですね。（「和式あるんだ」の声あり）和式もありますね。

委員（平吹俊雄君） そういうふうな子供たちというか、うちが洋式だから洋式でないという子供なんかあると思うんですね。だから逆にそういう生徒もいると思うんですけれども、その辺、子供たちの要望というんだか考えというのがどのようになって、どういうふうな希望ね。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 全員聞いたわけじゃないんですけれども、聞くところによると生徒にも考えが一応あって、洋式がいいという子供もいれば和式がいいという子供もいて、何で和式がいいのと聞くと、人が座った後にすぐ座りたくない。あったかいというか、そういう感触とか拭けばあれなんですけれども、そういう子供もいて、和式に入っていると。ただ、家では洋式だという、家族だったらいいけどみたいな。

あと、まるきり洋式、生まれたときから洋式の子は洋式しか慣れていない。途中から水洗トイレになったとかになるとやっぱり和式も両方使えと。逆に私個人的には両方使えたほうが、まだ一般の公共施設って洋式になっているところが少ないので、トイレに並んでいても和式があいていたりするので、幼稚園もそうなんですけれども、学習の場で両方できるように一応幼稚園の段階ではしているんですけれども、だんだん慣れてくると、和式のほうがよくなるということもあるので。

委員（平吹俊雄君） 階ごとに、1階、2階ごとに半分ぐらい。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 男子トイレは最低1つ。女子は2つぐらいというか、なければならぬということで、この間はちょっと洋式化率を上げるのには、男子がなっていないところは男子と、女子は1個だったところを2個にふやして改善して、一応それを改善して何とか4割。

委員（平吹俊雄君） それでそれなりに満足していればいいけれども。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 満足というのはですね、多にこしたことはないんですけど、4割・6割くらいとかいければいいんでしょうけれども。

委員（平吹俊雄君） そのくらいになったほうがいいのでは。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 大規模的な改造が必ず発生するので、水回り関係は。

委員（平吹俊雄君） ウォシュレットはどうか。ないんですか。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） ウォシュレットは、そういう子供がいたところに設置したところはウォシュレットタイプがまれに入っているところがあるんですね。今回洋式化したところは最低、暖房便座にしております。暖房便座がないところもかなりあるんですね。ただ、それをするには電気をまた引っ張ってこななければならないというのがあるので、今回つけたのには暖房便座つけて、唯一、職員室で水洗化になっていなかった小牛田小学校の先生たちに一応ウォシュレットタイプを2個ほどつけましたけれども。

委員（平吹俊雄君） やっぱり今、電熱というかね、少しずつふやしたほうがいいのでは。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） そうですね。あとはトイレ自体は中に凍結防止の暖房が入っているのもあるので、そんなにはひやっとしないのもあるんですけども、ただ、通常座るとひやっとはしますけれども、きんきんにまではいかないくらいですね。冬場は暖房入れているというのがあるので、少しは。今後は多分設置するときは最低限、暖房便座ですね。ならばウォシュレットもあればいいんですけども、ちょっとそこまで。ウォシュレットは、多目的、保健室絡みとかそういう子供たちのほうには設備いいほうが。そういう子供がいたところでつけなければならないとなったところには立派なのがついて、その後はそのまま使ってということになりますけれども。

委員長（福田淑子君） トイレの臭気について、まずね。

委員（平吹俊雄君） 不快になったというのは、先生の個人差だとは思うんですね。特に、それこそどうなんですか。（「換気扇あってもにおいするし」の声あり）そこらは調査する必要があるんじゃないですか。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 解答がちょっと、私もしょっちゅう行ってますけれども、ばらつきがあるかなというのは実際あります。

委員（平吹俊雄君） 現場に行ってやってみてください。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 換気扇の性能だけで解決できないことも実はあるんですね。もう古くて、今だと新しい学校で塩ビ管といって、さびないやつのパイプを使っていますけれども、昔のだと鉄管で、もう内側にもさびがたまっていたりしてどうしてもおっけてしまうがあるので。

あとなおさら男子トイレのほうの臭気が多いのは、新しいところだと1個1個の便器に水洗のボタンがついているんですね、流しながら使いなさいと。古い学校はハイタンク方式といっ

て、水がある一定たまったら一斉に流れるということで、思った時間には流れないんです。たまったら流れる。あとタイマーで日中だけしか流れないとか、この方法だと夜間もずっとたまったら流すという形になるので、それは要はタイマーついていればいいです。そういう形です。だから本当は、しながら流してもらうのが一番いいです。

委員長（福田淑子君） 藤田委員。

委員（藤田洋一君） 今の説明だとなおさらだと思ったんですけども、不動堂小学校ですね、臭気が20。もちろん換気扇とか窓ともつながってくると思うんですけども、0・0なんですね、窓も換気扇も。（「全部あるんじゃない」の声あり）あるの。その割に20になっているんだけれども、あと青生も同じだね。ここも不快が多いんだな。その辺は構造上なっているということですね、今言った。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 構造上もです。あとちゃんとした臭気計で一律同じ基準でははかっていないので、その人の感覚というのもあるんですが、いずれ不快に感じる場所の中にも普通の分もあるので、学校のほうもですね、そこをちょっと比べなければならないかなと思っています。

あとは換気扇の性能も吸い込みが悪いとか、年に一遍修理はしているものの、モーターの回転力が弱くなってきて、回っているのに吸っているんだか吸ってないのかちょっとあれなので、まるきり故障したところは直したりは対応しているんですが、だんだん能力が落ちてきたときのかえどきというんですかね。それも。

委員（藤田洋一君） はい、了解。

委員長（福田淑子君） 前原委員。

委員（前原吉宏君） 私的に思ったのは建築年数、今のほうがいい。小牛田中学校が不快が0で普通が12ですね。不動堂中学校が不快が3、南郷中学校、不快0、不動堂小学校、不快が20です。これちょっと現場で見たいなと単純に思ったんですけども、委員長。古いのにこの違いは何なのかと。

委員長（福田淑子君） まず御意見としてね。

ほかに。手島委員。

委員（手島牧世君） この調査、以前からトイレ関係についてはお話があり、実施していただいている状況になるかと思えます。

その後の話で、不快というところの部分としてはどういうふうな機器の管理、要はどういう掃除をしているのかとか、薬剤はどういったものを使っているのかとか、例えば雑巾が汚いま

ま使っていたら、もちろん臭くなるし、きれいにもならないので、ふだんの衛生管理とか、多分子供たちが当番で掃除しているとは思いますが、その状況も知りたいと思っていました。結局、一番は日々の掃除のような感じがうかがえる。あとは用具の点検というところで、雑巾であったりブラシであったりとかコーナーポットだとか、そういったところがどうなっているのかなというのがちょっと気になりました。その辺は何かお話はあるのですか。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 通常の管理は学校で生徒さんたちだったり業務員さんがしているものですが、年に一遍は町の委託業者で、薬品を使って尿石を取るとかという便器の清掃、あと換気扇等のほこり取りはしております。年に1回なんですけれども。この間、においがきつところについては尿石取りの薬品を使ってやってはいたりしていますが、そういったので対応しているんですけれども、なかなか抜本的な対策というか、ゼロになるようなところはないので。あとは水で封水というかやっているの、長期間使っていないと水は蒸発してしまったりするので、ちゃんと水が常にたまっているかどうかの点検は、特に夏休み明けとかは教頭先生とかにしてもらっていますけれども、そういったことにおいが上がってきますので、トイレから上がってくるのか掃除用の床から上がってくるのかわからない部分がありますので、この表には不快というのは余りないんですけれども、多分古い学校ほど悪くなっているのしょうけれども、不快になれてしまってゼロになっているのかもしれない。こんなもんだらうと思っているのもあれば、不動堂小学校なんか、先生がもうちょっといいところから来て、この学校はにおいが気になるなとなっているかもしれないので、その辺は同じ先生に回ってやってもらうか、そういうのもあればいいんですが、その辺はまだ調査して取りまとめた段階なので、今後、換気扇を含めて、ちょっと個別に見て歩きたいなと思っております。（「もう一つ確認」の声あり）

委員長（福田淑子君） 前原委員。

委員（前原吉宏君） 各小学校、今、水洗になっているということは、各地区によってばらつきがあると思います。公共下水道につながっているのか、それとも。その辺の違いを教えてください。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） では、上からというか、小牛田小学校については公共下水道に3年前くらいに浄化槽から切りかえております。不動堂小学校はコミュニティプラントということで、峯山処理場の下水道。北浦小学校については浄化槽ということで、合併浄化槽を敷地内に設けてそこで処理しております。中埴小学校は農業集落排水、青生小学校も合併浄化槽で、学校敷地内で処理しております。南郷小学校は、これも農業集落排水に接続しており

ます。

小牛田中学校は敷地内の浄化槽で浄化をしております。不動堂中学校については公共下水道に、記憶はないですけれども、切りかえております。最初は合併浄化槽。南郷中学校については農業集落排水、これも南郷小と中が農業集落排水へ切りかえになっております。

委員長（福田淑子君） 前原委員。

委員（前原吉宏君） そうすると、一つ原因として考えられるコミュニティプラントを使っている不動堂小学校ですね。この例えば勾配率とかその辺の、なっているとは思っただけでも。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 私が来てから、4年くらい前なんですけれども、学校で閉塞したというのはないんです、下水管が。あっ、閉塞したというのが1回だけありました。それはトイレトーパーを大量に使って流されたということで、下水管でとまっていて、関係ないところの上流が流れが悪いということで、それは大量の水で押し流してやったというか、ある程度の水を流さないと流れないので、ちょっと少なかったのではないのかと思いますけれども、それ以降はないです。

委員長（福田淑子君） 前原委員。

委員（前原吉宏君） 公共下水道もコミュニティプラントも一緒だと思うんですけれども、100分の3だとかこういう勾配、決まっているんですね。（「100分の」の声あり）5でしたっけ、3でしたっけ、2でしたか、で決まっています、その中で、やっぱりチェックしているかどうかによっては流れも変わってくるのかなと。においもそれなりに違うんですよ。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 勾配が、最低も決められているんですが、最大も決められていて、余りきついと水だけ流れて物が途中でとまってしまうので、その範囲内ということで、下水が2%ですけれども、浄化槽だと1%だか1.5かちょっと。それはなぜかということ、浄化槽って宅内に設置するので、入り口というのは高さ決められるんで、長さによってちょっと緩やかになっているんです。

勾配も、確かに滞留すればそこに物がずっとたまっている状態なので、要は下水の管が常にたまっていない状態を確保できれば臭気も幾らかおさまる可能性も原因の一つにはあると思います。

委員（前原吉宏君） チェックしてみたらどうでしょうか。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） はい、わかりました。

委員長（福田淑子君） ほかに。柳田委員。

副委員長（柳田政喜君） 今、前原さんが言ったことはもっともなんですけれども、基本的に便器も洗面所も途中の管に水が詰まってにおいが上がってこないようになっている。それで農集排なんかの場合の、うちらほうの真空ポンプ式だと、真空ポンプの吸い込みが強過ぎると、その水が抜かれてしまってにおいが出てくるということはあるんですけれども、そのときは、その部分もちょっとチェックしてみてください。コミュニティプラントはそうになっていないんですけれども、農集排はそうになっていますので。

ただ、一つ確認したいのが、不快という回答があるんですけれども、不快の回答の中でも、においで不快って、臭気ですから、においだったと思うんですけれども、2種類あると思うんですね、基本的に。今、前原さんが言ったような要は污水管とかそういう汚物そのものから来るどんくさいにおいと、あとはその前に手島さんが言った、清掃するときに飛び散りの部分に雑菌が繁殖して出るにおい。そっちはちょっとつんとくるようなにおいが発生しますよね。その違いもちゃんと確認しないと対策できないと思うので、その辺は確認をある程度していただきたいというのがまず1点です。

それとあと、換気窓とか換気扇のないところについてなんですけれども、これというのがないというのは、建設当時、もしくはトイレの場所によってつけられない場所という感覚でよろしいですか。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） つけられない箇所もあれば、つけていてもあけられないのもあるんだと思うんですけれども、2カ所ほどは詳細な図面はちょっと持ち合わせていないので、そこも確かめてみたいなと思っています。

副委員長（柳田政喜君） 窓なんかは内部に接していないところですから。

教育総務課課長補佐（伊藤雅典君） 窓をつけていても、目隠ししたりですとか。

副委員長（柳田政喜君） それとともに、女性のトイレの場合は外から見えない場所という形になっていると思います。ということなので、その辺も確認してください。確認して対応できるようにしてください。

委員長（福田淑子君） ほかにありませんか。

私から、不動堂小学校の臭気がひどいということで、前に予算をとって対処した記憶があるんですけれども、現状を確認したんですね、常任委員会で。その割には不快とを感じるのがかなりの数で。換気扇をつけても、これだけ不快というのはやっぱり、その辺どうなのかなと。ですから実態、においのもとがどこから来るのかというのは調査してみないとなかなかわからないと思います。換気扇をかえればいいのかという問題、それから浄化槽の先ほどの勾配の関係

とかね。やっぱり不動堂小学校、それから青生小学校、不動堂中学校についてですか。数的には小牛田小学校もですね。においのもとを調査していかなければならないのかなと思いますので。

ほかにありませんか。(「なし」の声あり)

ないようですので、以上で学校トイレの室内環境調査についての意見交換会を終わりたいと思います。

教育委員会の皆さんには大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

10分休憩します。

午前 11 時 20 分 休憩

---

午前 11 時 28 分 再開

委員長(福田淑子君) 再開いたします。

村松委員から連絡ありまして、回復したということで、次回から参加と報告がありました。

ただいま教育委員会と小中学校のエアコン設置、それからトイレの現状について担当課と意見交換をしました。

その前に、保育所の現状について電話で確認したところ、全室エアコンが入っているということでありました。

まず、エアコンについて、今後この委員会としてどのように話を持っていくのかを皆さんで協議したいと思います。

休憩いたします。

午前 11 時 29 分 休憩

---

午前 11 時 45 分 再開

委員長(福田淑子君) 再開いたします。

それでは、議長を通して町に要望をしたいと思います。

- 1、エアコンについては現状を把握し、設置の方向で検討されたい。
- 2、設置については、特に幼稚園は早急に対処されたい。
- 3、熱中症指数モニターについては、全教育施設へ早急に配備されたい。

以上でよろしいでしょうか。(「はい」の声あり)

それでは、直ちに議長を通して町のほうに要望したいと思います。

議長（大橋昭太郎君） 設置はどこにですか。設置場所が、教育施設への設置とかさ。

委員長（福田淑子君） 休憩します。

午前 11 時 46 分 休憩

---

午前 11 時 48 分 再開

委員長（福田淑子君） 再開いたします。

申し入れ事項、要望についてもう一度確認いたします。

小中学校のエアコンについては、現状を把握し、設置の方向で検討されたい。

2、幼稚園については、全園に早急に対処されたい。

3、熱中症指数モニターについては、全教育施設へ早急に配備されたい。

以上でよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

休憩します。

午前 11 時 49 分 休憩

---

午前 11 時 50 分 再開

委員長（福田淑子君） 再開いたします。

訂正がありました。

2番、幼稚園のエアコンについては、早急に対処されたいということで、これでよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）ではそのようにしたいと思います。

続きまして、トイレについてですけれども、委員から現場を確認したいという声がありました。あくまでも不快に思っているのは個人差もありますので、現場を確認してからでよいと思うんですけれども、いかがでしょうか。柳田委員。

副委員長（柳田政喜君） 現場の確認も必要なんですけれども、臭気の原因をある程度専門の方に見ていただいたほうがはっきりすると思うのです。私たちが行ったからといって、ここが悪いなんてわからないと思うので、きちっとした方に確認してもらうことが必要だと思います。

委員長（福田淑子君） 現場を確認。原因は専門家に任せるのが当然だと思いますし、現場を確認するという意味では、みんなで一緒に同じものを共有するというので、ぜひ現場を確認したいと思いますけれども、いかがですか。（「賛成です」の声あり）それでは、トイレについては現場を確認することにしたいと思います。

我妻委員。

委員（我妻 薫君） 休み中とはならないと思うので、学校始まってからでいいんでないの。

委員長（福田淑子君） 学校が始まってから、動き出した後にということで、学校の夏休みが終了した後に現場を確認したいと思います。

それで、全学校となると大変なんですけど、全学校を見ますか。（「多いところでいいんでないか。不動堂と青生」の声あり）不動堂小学校、青生小学校。（「比べてみたいのはゼロのところ」「逆にいいところ」の声あり）

休憩します。

午前 11 時 52 分 休憩

---

午前 11 時 55 分 再開

委員長（福田淑子君） 再開いたします。

トイレの臭気につきましては担当課が調査した後に学校の現場を見るということでよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）では、そのようにしたいと思います。

それでは、エアコン設置についての申し入れの文書なんですけれども、今、大きな項目についてはお話し合いをしたので、委員長、副委員長で文書作成に当たって、後、皆さんに提示したいと思いますが、いかがでしょうか。（「はい、よろしいです」の声あり）では、そのようにさせていただきます。

それから、同じようにエアコンについてなんですけれども、先ほど県と国に意見書を提出したほうがいいという意見が出ました。これは9月議会に向けて意見書を作成したほうがいいということでしょうか。（「はい」の声あり）

それにつきましても委員長、副委員長で作成して、皆さんに御提示したいと思います。

1 番の、小中学校のエアコン設置とトイレの現状について担当課との意見交換はこれで終了いたしました。

2) 所管事務調査の報告書については、皆さんでまとめた意見をつけ加えて、それで目的、それから概要についてまとめましたので、読む時間は必要でしょうか。それとも午後に回して審議したほうがよろしいでしょうか。

ただいまから休憩します。

再開は1時15分から再開いたします。

午前 11 時 58 分 休憩

---

午後 1時15分 再開

委員長（福田淑子君） それでは、午後の部を再開いたします。

村松委員欠席しております。

委員7人出席ですので、委員会は成立をいたしております。

ただいまより、7月4日から7月6日にかけて所管事務調査を行ってきました。その報告書についてを議題といたします。

あらかじめつくってきたものを皆さんにお渡ししておりますので、その中で訂正がありましたら御意見などを伺って文書をつくっていきたくと思いますので、よろしく願いいたします。

休憩いたします。

午後1時16分 休憩

---

午後2時10分 再開

委員長（福田淑子君） 再開いたします。

所管事務調査研修の報告につきましては、皆さんからいろいろ訂正された箇所がありますので、それを直しまして、皆さんにまた再度御提案し、そしてさらに9月議会で報告をさせていただいて、議決をいただいた後に議長から町長に申し出てもらうという方法をとりたいと思います。

今回は、8月30日木曜日9時半からということにいたしますので、よろしく願いをいたします。

ほかに皆さんから何かありませんか。（「なし」の声あり）

なければこれで委員会を終わります。（「これ何ですか」の声あり）皆さんにお渡しいたしました。（「資料でないですか」「いや、関係なければそれで」の声あり）

じゃ副委員長から挨拶をお願いします。

副委員長（柳田政喜君） 本日はどうもお疲れさまでした。

天候のほうはこころこ変わりますので、皆さん、体調には十分留意されて、今後の常任委員会の活動に御協力をよろしく願いします。

本日はどうも御苦労さまでした。

午後2時12分 閉会

平成 年 月 日

教育、民生常任委員会

委員長